
夢見た話

中途

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢見た話

【Nコード】

N3491BA

【作者名】

中途

【あらすじ】

出落ちで夢落ちです。

今の所は夢落ちかな？って感じですよ

いい加減なSSです。

ゆるーくやっています

色んな小説のキャラだしてこうかなと思ってます。

慣れてきたら徐々に増やしていこうと思ってます。

とても稚拙な文？ですのでご了承ください。

日本語も勉強しつつ書きたいです、外人ではないですけど

こんな雑な感じですが何卒生暖かい目で見てください

あの日見た夢

何時から夢を見たのかはわからない

けれど、今見ているのは夢だとわかる

何故なら、それは自分が夢見た世界だったから

- - - - -

何時からだろう

起きてみる夢が冷めて醒めてしまったのは

いや、元元見ていなかったのかもしれない

見るものなどなかった

成りたいものなどなかった

ことごとく消え去った

他人の所為であり自分の所為でもある

視るならば夢の中にしかなかった

現実に飽き飽きした訳でも嫌気がさした訳でも背けなくなった訳でも絶望した訳でもない

先ほど挙げた大抵の事は体験はしたけれど

己が望む物すらわからない何を目的とするかも

流されるがままに

つい最近それに嫌気がさした

どうってことはないただの変化

変わりたいと思っただが故の嫌気

魔がさした

そんな事は正直どうだっていいんだ

大事というよりは小事

たまに、こんな世界に行ってみたいと思うときがある

別段変わってなくたっていい

其処に自分という存在が白紙。それだけでいい

今の自分に嫌気がさす

何かにつけて理由を屁理屈を駄々を捏ねてごねる

てのかかるガキだからだ

それに心から望んでいることがある

自分の感情だけで衝動的に情動的に為すがままにあるがままに動く。
自分を自分が描くように動かしたい

そんなちよつとした願望を夢見ただけのお話

勿論自分が関わってみたい奴は余すことなく出てくる

但し、総て事故満足であり必ずしもそうであるとは限らないしそれに必ずへまをする。あり得ないこともおきる。御都合主義も甚だしい展開もある。

せめて、現実で観れないものなのだから夢の中だけでも……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3491ba/>

夢見た話

2012年1月9日00時50分発行